

学校における働き方改革推進について

令和3年9月22日
学校教育室 教職員担当

オンラインミニ講座

振り返りの一部を紹介します。

■学校の環境整備 本気で取り組みたい人集まれ!■

令和3年9月17日(金)に実施した講座のアンケートより、参加された管理職や教職員の感想を紹介します。今回の講座は、教職員のメンタルヘルス対策推進にかかる「働きやすい職場環境づくりの徹底」について好事例の共有を行ったものです。自校の業務改善について「主体的に考え→実行する」を積み重ねることで、同僚性の高まりを感じる組織づくりを大切にしています。


参加された方は、他の方の考え等を読みながら、改めて振り返りをしていただければと思います。また、参加されていない方については、動画(30分)をご覧ください、各校の取組にいかしていただきたいと思っています。

平成31年3月(文科省)「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」

(3)業務の役割分担・適正化のために各学校が取り組むべき方策
・教職員間で業務の在り方、見直しについて話し合う機会を設け、話し合いも参考にしながら、管理職は校内の業務の在り方の適正化を図ることができると学校現場の雰囲気づくりに取り組むこと。
(管理運営に関する指針にも明記)

労働安全衛生総合研究所 山本健也医師「ストレス対策の介入のポイントの例」

・仕事のしやすい作業のレイアウト
・物理的作業環境の改善



- 固定されていない棚 棚上に物を積み上げる
- 整理の悪い机 床上にむき出しの電源コード
- 埃のついた電源タップ 「掲示」等、高所作業
- 荷物の多い通路 …みなさんの学校はどうですか?

② 教頭がキレイにしたい! → 私たちがキレイにしたい! への転換

働きやすい職場環境(ハード面)

「職員室、片付けたい…」
「伊加賀は無理やと思いますよ…」

付箋を見ると、クリーンデスク・クリーンロッカーに対して肯定的意見が圧倒的多数!

みんな、片付けたいと思っている!!
を共有しよう

断捨離が必要

20校(30名)の参加がありました。クリーンデスクに焦点をあてていましたが、組織のあり方や同僚性の向上についての気づきがうまれる内容となりました。充実した30分でした。



How to クリーンデスク

- 業務改善で大切なこと
～当事者をいかに増やすか～
- ①職員室をキレイにしたい!人は、きっとたくさんいる。
 - ②教頭がキレイにしたい!
→私たちがキレイにしたい!への転換
 - ③無理なく計画的に♪

「4月職員室に入って、机上がとても綺麗なので、自分も綺麗にしたい!と思った」

個人情報・共有物の確実な管理
公務災害 0

忙しいと言われると、言いたくないんだよな。

この状態が良くないのはわかっているけど、いつも後回しになっています。

現在地

学期末に整理整頓をするけど、すぐに元通りになってしまっ…

ストレス 減 「クリーンデスクを保ち続けたい」

■本講座からどのような学び、気づきが得られましたか■

- 大きな目的である、所属職員の「幸せ」を追求することの認識を校長として改めて自覚した。ミニ講座としては、クリーンデスクに至るまでを学んだが、実は、教職員担当から示された一人ひとりの教職員の繋がり方が大きな鍵になるのではと思った。つまり、同僚性のあり方が問われていると思った。
- たくさんの教職員が職員室をきれいにしたいと付箋に書き込んだから実現したこと。ただ管理職がこうしろといっても伊加賀小のようにはならない。教職員が声をあげるための仕掛けが大切だと感じた。
- 高嶋教頭先生の「業務改善することを楽しむ」という言葉が印象に残った。伊加賀小さんが、楽しんで取り組んでいるのが参考になった。
- 全教職員の意識の統一と協力がなければできないことであり、「きれいな職員室にしたい」という気持ちをいかに引き出し、実行に移すかが大切であり、難しさも感じている。ロウるさく呼びかけたり、注意するだけでは反発心を抱くこともあり、職場の雰囲気悪化につながってしまう。人間関係をしっかりと築くことで可能になることと思った。
- 取組については、諦めずに徹底的にやろうという心構えが必要だと感じた。なかなかうまくいかず、結局なあなあで終わってしまうことも多い現状なので、とにかく継続が大切だと思った。
- 自校の職員室を整理整頓できた時の美しさを想像した。心の健康づくりは、職場の環境をきれいにするとところからだということに改めて気づかされた。
- 業務改善を「みんなの思い」として共有していくことが持続していく秘訣だと感じました。ミニ講座の2回目(別のテーマ)があるといいなと思う。

■本講座後、校内でどのような発信や取組をしていきますか■

- 年度末反省ではなく、今できることを洗い出し、できることには着手するという方法の積み重ねが大切。2学期は、管理職発信もさることながら、今日一緒に参加した先生を中心に、当事者意識の輪を広げる2学期にしていこう。
- まずは、金曜日の16時55分から5分間の整理整頓タイムをやってみよう。
- 全教職員でクリーンデスクや業務改善について話し合いの場を設けて考えを共有したい。
- 業務改善推進者と一緒に、早速ロイロノートを活用しながら、全教職員で取組事例集に付箋をつけて、教職員の思いを知り、意識を高めたい。
- いつ見ても、机上がきれいな方、意識して荷物を置かないようにしている方、空き時間に廊下や階段のゴミを取ってくれている方など、「場を清める」ことを大切にしている教職員もいます。そのような方と共に、何かしらの取組を始め、その姿を示すことで、全職員の意識改革につなげたい。
- 今年度は、監査にあたり、外的な理由として片づけをしないとイケない状態ですが、内発的にきれいにしたいという気持ちやモチベーションの上げ方を模索したい。
- まずは、業務改善推進委員である私が、印刷室を改善し、その他に職員室で改善していきたいエリア(学年棚や分掌棚など)を教職員で出し合い、より良い職員室環境をめざしていきたいと考えた。
- 年度当初の綺麗な状態の職員室の写真を教職員と定期的に共有し、啓発したい。業務改善実行委員とこの講座内容を共有し、本校でできることを具体的に考えたい。

■業務改善について、さらに知りたいと思ったことはありませんか■

●限られた時間の中で、業務の効率化やその質の向上、それらをどのようにつくっていけば良いのか、学校組織のあり方に関わるかと思うが、さらに知りたい。

●限られた時間の中で仕事の質を落とさず、さらに効率も上げる、そのような実践事例があれば聞きたい。

●校内会議のあり方を改善しているのですが、他校ではもっといい方法があるのではないかと思うので、交流したいです。

●教頭という多忙な中で、どうやって教頭通信を書いたり、業務改善に向けた取組に時間を使っているのか知りたい。

●業務改善の取組を進めるきっかけ作りができていません。以前、職員会議で業務改善の取組の募集について発信したのですが、無反応でした。職場全体が業務改善について進めようと思える工夫を学びたい。

●Pフォルダの中や、行事や授業準備、校務分掌の偏りなど、学校の抱えているものの精選の進め方。

●タブレットを有効活用した業務改善の方法を知りたい。

●職場全体の意識向上の仕掛けについて知りたい。

●反対意見が出た時にどうしていけばいいのか悩んでいます。諸先輩方への伝え方等。また、地域が絡むもの、子どもの生活時間が絡むものについて変えていく方法。

「学校における働き方改革推進について」(令和2年10月、令和3年3月枚方市教委)を発行後の、業務改善推進校の管理職からの声。

学校における働き方改革推進について
1. 枚方市立小・中学校の勤務実態 (P1)
2. 業務改善推進校取組共有会 (P2)
3. 業務改善推進校の取組事例 (P4)

資料:働き方改革の目的・取組

令和2年10月
枚方市教育委員会 学校教育部 教職員課

学校における働き方改革推進について
(共有資料 part3)

1. 枚方市立小・中学校の勤務実態 (P1)
2. 対談(学校の働き方改革はなぜ必要か) (P2)
3. 意識改革 (P5)
4. 継続可能な取組にするために (P7)
5. 業務改善推進校の取組事例 (P9)
6. 業務アシスタント活用事例 (P12)
7. タブレット活用事例 (P13)

資料:働き方改革の目的・取組(共有資料part1より)

令和3年3月
枚方市教育委員会 学校教育部 教職員課

しんどいことだけさせられるという受け取り方の強い学校では、やはり疲れてしまって元気ができませんが、やるべきことはしっかりとやり、でも無駄な時間は無くしていき、自分の時間も確保することができれば、公私ともに充実し、心身も健康になる。それが教職員としても、子どもたちに接する上で、とても大切だということを考えると、今、社会全体で働き方改革の波が大きくなっている時に、学校もしておかないと……今後も一緒に進めていけたらと考えています。

「働き方改革は習慣を変えること」への抵抗感をいかに和らげるか。「こんなお得があるんだよ」と示す。「みんな困っていませんか?」と投げかける。そういった意味でも、各校の好事例を共有できたことで、自信をもって進められました。

学校長の提案で、校内研修冊子にも取組集が掲載できたことは画期的でした。今後もこの取組が進むために、職員室の担任として支援していきたいです。

学校全体としては、タブレットを活用したくさんの変化がありましたが、まだまだ発展途上です。取組事例集の発行やclassroomでの交流は、ぜひ今後も続けて頂きたいです。学びが多いのはもちろんですが、自分たちの頑張りの評価で職員室のモチベーションもUPしてます!

来年度も先生の「楽しい!」を増やしたいです。そのために、時間を生み出せるよう、学び続けたいです。

講座内で、高嶋教頭先生が、教職員を巻き込む(声を引き出す)ために、活用したとお話しされていたのは、これらの資料とロイロノートです。

市内の学校で行われている業務改善の取組を掲載しています。改めて、各校の取組推進のために、有効活用していただきますよう、お願いします。

★「学校における働き方改革推進について」
(令和2年10月枚方市教委)



★「学校における働き方改革推進について」
(令和3年3月枚方市教委)



★「全国の学校における働き方改革事例集」
(令和3年3月文科省)

